

スクランブル

青森県 風間浦村商工会

下風呂温泉にいらっしゃ〜い!

元祖・烏賊様レースin銀座を開催

11月11日、商工会と観光協会が共催する「風間浦村大規模観光キャンペーン」が銀座で開催され、買物客や会社員、OLで賑わった。

今年で15回を数え、銀座の晩秋の風物詩となったこのキャンペーンのメインイベント「烏賊様(いかさま)レース」は、下北半島沖で水揚げされ、トラックで当日朝に運ばれてきた活イカが6コースに区切られた5mの水槽を泳ぐもの。出走

の合図で各イカのオーナーが棒で軽く突くと、イカは陸送の疲れも見せずに一斉に泳ぎだし、数秒で勝負がつく。

オーナーになるには、2,000円で馬主ならぬ「イカ主」の権利を買うのだが、レース参加賞品として同額以上、結果によってはプラス・アルファの特産品がもらえるとあって、エントリー希望者が列をなした。

商工会の駒嶺剛一会長は、「下北半島には、下風呂温泉をはじめ、秘湯・名湯がたくさんあります。また、風間浦村の目の前に広がる太平洋から揚がった真イカは、これからが一番おいしい季節。外は寒くても部屋の中や心の中は温かくなるから、この冬は下風呂温泉にぜひお越しください」とPRしていた。



徳島県 北島町商工会

2,000円札使って沖縄へ

キャンペーンで買物、4億円の効果

9月1日～10月15日、商工会(志内祥郎会長)では2,000円札を使って買物をする「2,000円札キャンペーン」を行った。2,000円札を1枚使うごとに抽選券1枚を配付するもので、商工会に加盟する小売、飲食、サービス業など、約390店舗が参加。

翌16日には、沖縄旅行など約250点の賞品が当たる公開抽選会を実施したが、約2,500人がつめかけ、住民の関心の高さがうかがえた。

集計では、期間中は2,000円札約2万4,000枚、概算5千万円が流通し、前年同期比15～20%売上が伸びた店もあった。商工会全体では、例年は年間売上190億円、キャンペーン期間に相当する45日間に換算すると23億円。全体で4億円の売上を上乗せすれば、17%伸びたことになる。

商工会の中野英雄主席経営指導員は、「買物需要を押し上げ、小規模零細経営主体の商店街に大きな経済効果をもたらした。消費が冷え込む2月や8月にも実施すれば、底上げが図れるのでは」と語った。来年にはキャンペーン第2弾の実施を計画し、さらなる活性化をめざしている。

北海道 赤井川村商工会

赤井川の特産品をPR

札幌駅で試飲・試食会実施

後志管内赤井川村は札幌から車で1時間ほどの距離にあり、ハスカップやトマトのジャム、ワイン、ベーコン、漬物など特産品も多いが、札幌に「赤井川ブランド」は今ひとつ浸透していない。



そこで、商工会(辻康会長)では11月8日、札幌の人たちに赤井川の特産品を実際に食べてもらい、質の高さを実感してもらおうと、JR札幌駅地下街のライラックホールで地場産品の試飲・試食会を開いた。

特にワインとベーコンが好評で、買物途中に立ち寄った女性会社員は「ワインが気に入りました。スーパーで売っていたら買いたいですね」と話していた。

山形県 南陽市商工会女性部

地産地消のお弁当をどうぞ

駅弁感覚で開発、春の販売をめざす

置賜地区商工会女性部連絡協議会では、2004年度から地産地消お弁当の開発に取り組んでおり、04年は川西町商工会女性部が幹事となって「ひょうたん弁当」を発表した。



05年は、南陽市商工会女性部が「わいんの里ワインピラフ」「たわらあげおふくろ弁当」を考案し、10月26日には南陽市商工会館で発表・試食会が行われた。コンセプトは「駅弁感覚の弁当」で、観光振興につながることを目的に6月から試作を重ねてきたもの。

発表会では試作の経過などを報告したのち、参加した約50人が、鶏肉・シメジ・玉ネギを炒めて南陽特産のワインで炊き上げた「ワインピラフ」、ゴボウ・シイタケ・シメジなどの変わりごはんを置賜特産の油揚げ(俵揚げ)に入れた「たわらあげおふくろ弁当」に舌鼓を打った。

共通のおかずとしてサトイモの煮物、ブドウなども添えられているが、今後、試食アンケートをもとにさらに改良し、06年春から置賜の道の駅などでの販売をめざしている。

宮崎県 三股町商工会青年部

障害者バンドに楽器寄贈

チャリティービアガーデンの益金で

三股町商工会青年部(桑山悟部長)では、今年8月にJR三股町駅前で開催したチャリティービアガーデンの益金で楽器(木琴のテンブルブロック、打楽器のボンゴとボンゴ台、ジャンベ)を購入し、町内で活動する知的発達障害者のバンド「カーニバル」(朝倉啓子代表)に贈った。

青年部が取り組む地域貢献活動の一環で、楽器の寄贈は初めてという。

「カーニバル」のメンバーはオリジナル曲「SMILE」を演奏して感謝の意を表し、桑山部長は「メンバーの皆さんに喜んでもらえてよかった。今後もこういった事業に取り組んでいきたい」と話した。

鹿児島県 吹上町商工会 物産館は昭和レトロ 古民家を再生し商店街を活性

10月29日、商工会（西陽三会長）では、日置市内吹上町えびす通りにある古民家を再生し、物産・交流館「伊作えびす屋」としてオープンした。

この民家は木造一部2階建て瓦葺きの旧・片平食堂で、100年を超す骨材を使って昭和30年代に建てられており、現在は閉店していた。付近の集客力を高めようと、えびす通り会が中心になって計画したもので、民家再生で定評のある市内の徳満工建が再生を手がけていた。

新装なった「伊作えびす屋」は、重厚な骨材をむき出しにし、床はフローリング、照明は白熱灯を使ってレトロな雰囲気 강조했다。また、改装中に店内床下から出てきた本物の井戸を生かそうと、店内中央の休憩スペースにポン

プをつけて設置。集まる高齢者たちの昔話を聞きながら、井戸くみを体験できるようにした。

近くの「えびす神社」のご神体をかたどった「夫婦えびす」がイメージキャラクター。出店は吹上にゆかりのある人を中心に募集し、だんご屋、アロマテラピー、軽食喫茶、おもしろ雑貨店などが揃った。通り会のコマーシャルのため、各店の商品も持ち寄って展示したほか、地区の焼酎も展示している。

えびす通り会の中間重春会長は「初日から大勢の人が訪れ、うれしいかぎりです。ここを拠点にいろいろな発信していきたい」と元気いっぱいだ。



秋田県 平鹿中央商工会 盛りだくさんの古里の味 旧4町村の特産品パックを発送

商工会（遠藤芳徳会長）では旬の特産品をセットにした「平鹿中央商工会オリジナルパック」を企画し、11月25日まで申し込みを受け付けていたが、12月8日からその発送を開始した。



平鹿商工会は、今年4月に旧・平鹿町、旧・大森町、旧・山内町、旧・大雄村の4商工会が合併して誕生したことから、パックは平鹿地域のリンゴ（ふじ）5個、浅舞婦人漬物研究会のみそ漬け、大森地域のシイタケとリンゴジュース5袋、山内地域の漬物（イブリガッコ）と縄文そば、大雄地域の米（アキタコマチ2kg）と醸造味噌1kg。盛りだくさんの内容で、送料込み4,800円。

「限定200パックですが、首都圏の親戚や知人に古里の味として喜ばれるのでは」と商工会では話していた。

茨城県 常陸太田市商工会 健康にはウォーキング！ 足腰鍛えて地域再発見

11月3日、第3回ひたちおた健康ウォーキング大会（常陸太田市商工会連合会・常陸太田市商工会主催）が開催された。市内はもちろん、水戸、日立、ひたちなか、笠間、筑西、鉾田市などからもウォーキング愛好者約250人が集まり、市内約10kmを散策しながら地域を再発見し、足腰を鍛えて健康づくりにもつなげようというもの。商工会館で行われた開会式では、安藤正一商店会連合会会長、伊村智安商工会会長があいさつし、併せて佐竹氏や徳川氏の旧跡など市内の名所を紹介した。



幼児から85歳までの参加者は、川上清県ウォーキング協会副会長の指導でストレッチ体操をして出発、馬場八幡宮、増井町の巨峰畑、佐竹氏の菩提寺・正宗寺、瑞竜霊園などの景色を見ながら、約10kmのコースのウォーキングを楽しんだ。

まちかど案内人、まいづる塾のメンバーなどがボランティアで案内役を務め、同市産のコシヒカリ5kgが当たるお楽しみクイズも行われた。市内から参加した女性は「健康と美容のためには歩くのが一番。週4日は歩くようにしています」と元気に話していた。

埼玉県 鳩ヶ谷市商工会 市の遊休地を活用し、公共駐車場を開発 「鳩ヶ谷本町ふれあいパーキング」

鳩ヶ谷市商工会（沼口弘司会長）は、中心市街地商店街の活性化などを目的に同市では初めての有料公共駐車場を平成17年11月1日にオープンさせた。平成16年7月に同商工会と本町商店街（約80店舗）共同で中心市街地活性化基本計画に基づき市に要望書を提出し、実現に至ったもの。同駐車場の運営は商工会が行う。駐車料金は30分100円の有料だが、各商店ではそれぞれの判断で買物金額に応じて無料駐車券を発行する。

同商工会の今井力事務局長は「10年前、市役所が移転した後、跡地の有効活用で駐車場を要望してきたが、10年来の懸案がようやく実現したと喜んでいる。同商工会では商店街活性化事業として1店逸品選定事業、三・八市の復活、花と緑

の商店街づくり、営業時間の延長などに取り組んでいる。

同駐車場の開発にあたっては、時間貸駐車場開発のノウハウを持つ民間最大手の㈱パーク24に設計から開業まで協力を得て、開業後は駐車場運営を委託することにより、商工会の管理事務負担を最小限とする仕組みを構築した。

商店街の周辺には、無人の時間貸駐車場が開発されているが、地元の商店街と連携が図れていないのが現状であった。また、高齢化が進む個人・小規模駐車場経営者の転廃業に関する経営相談も増加傾向にある。全国連では、今回のケースを参考に、地域のまちづくりの観点から、駐車場の利用・開発等についてノウハウを持つ民間企業との連携についても検討していく考え。

